



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月11日

上場会社名 キクカワエンタープライズ株式会社  
 コード番号 6346 URL <http://www.kikukawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 菊川 厚  
 (氏名) 出口 行男

TEL 0596-21-1011

上場取引所 東 名

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,190	21.1	138	88.1	165	79.9	144	69.5
27年3月期第1四半期	983	123.4	73	—	91	—	85	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	11.52	—
27年3月期第1四半期	6.79	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第1四半期	10,202	—	7,819	—	76.6	623.43
27年3月期	10,336	—	7,678	—	74.3	612.18

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,819百万円 27年3月期 7,678百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.00	—	3.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	1.6	150	△28.9	180	△32.5	150	△25.0	11.96
通期	4,000	△12.6	250	△50.1	300	△49.4	250	△46.2	19.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	13,200,000 株	27年3月期	13,200,000 株
28年3月期1Q	657,237 株	27年3月期	657,148 株
28年3月期1Q	12,542,804 株	27年3月期1Q	12,544,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済情勢は、国内におきましては、企業規模別あるいは業種別による業績格差はまだまだ大きいものの、政府が提唱する積極的な経済政策が功を奏し、財務省発表による5月の経常収支が11ヶ月連続の黒字を確保するなど、総じて堅調な状況にて推移しております。しかしながら、当社の製造する木工機械の設備投資動向と関連の深い新設住宅着工戸数は、5月には前年同期比3ヶ月連続増加と消費増税後の落ち込みから回復しつつあるものの、その絶対数は近年の実績と比較すると未だ低水準に留まっており、その影響で木材関連製品の低迷傾向が続いております。

一方で、海外におきましては、欧州連合(EU)が求めるギリシャの財政緊縮策の行方や、中国の株式市場の変調など、景気動向に対してさまざまな先行き懸念がありますが、米国経済は引き続き好調を維持しており、為替レートも安定的に推移いたしました。

このような環境のもと、当社の第1四半期累計期間における売上高は、国内海外とも堅調に推移し、1,190,794千円(前年同四半期は983,593千円)と2年連続の増収となりました。それに伴い損益面では、営業利益138,296千円(前年同四半期は73,527千円)、経常利益165,520千円(前年同四半期は91,992千円)、四半期純利益144,470千円(前年同四半期は85,221千円)となり、それぞれ2年連続の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前期末に比べ133,834千円減少し、10,202,593千円となりました。

これは主に、現金及び預金が124,016千円増加したものの、受取手形及び売掛金が327,664千円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ274,860千円減少し、2,383,042千円となりました。

これは主に、前受金が92,188千円減少したことなどによるものであります。

また、純資産につきましては、前期末に比べ141,026千円増加し、7,819,550千円となりました。その結果、自己資本比率は76.6%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、国内におきましては、新設住宅着工戸数の長期低落見通しが、顧客の設備投資意欲にどのような悪影響を及ぼすかが懸念されますが、その一方で環境に優しいバイオマス活用も含めて資源量の豊富な国産材利用の更なる活性化が期待されます。また、工作機械関連では総じて好調な企業業績とアベノミクスに伴う政策減税により、日本工作機械工業会による6月の受注速報の内需分は前年同期比141%と好調であり、今後も国内製造業でのものづくり体制の強化に伴う設備投資の改善傾向が続く事が期待されます。

海外におきましては、ロシアに対する経済制裁やギリシャの財政危機あるいは中国市場の株価変動などの不安定要素が世界経済に及ぼす悪影響が懸念されますが、全般的には円安傾向の持続による国際競争力の回復傾向が幅広く波及することが期待され、引き続き予断を許さない状況下ではあるものの、緩やかな景気回復基調が続くものと思われれます。

詳細につきましては、本日(平成27年8月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があり、その達成を当社として約束するものではありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,066,843	5,190,859
受取手形及び売掛金	1,567,929	1,240,264
製品	66,815	80,531
仕掛品	203,415	248,702
原材料及び貯蔵品	159,259	128,350
その他	8,534	9,980
貸倒引当金	△3,492	△2,823
流動資産合計	7,069,305	6,895,867
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,143,629	1,143,629
その他(純額)	968,968	945,476
有形固定資産合計	2,112,598	2,089,106
無形固定資産		
	15,836	14,471
投資その他の資産		
投資有価証券	1,095,829	1,160,590
その他	42,857	42,557
投資その他の資産合計	1,138,687	1,203,148
固定資産合計	3,267,122	3,306,726
資産合計	10,336,427	10,202,593

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,457	593,912
未払法人税等	195,589	22,657
前受金	362,106	269,917
賞与引当金	83,910	39,600
役員賞与引当金	35,000	5,000
その他	225,203	203,423
流動負債合計	1,411,265	1,134,511
固定負債		
繰延税金負債	286,802	304,208
退職給付引当金	654,310	637,337
役員退職慰労引当金	263,960	265,397
資産除去債務	41,564	41,587
固定負債合計	1,246,637	1,248,531
負債合計	2,657,903	2,383,042
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	660,000	660,000
資本剰余金	411,311	411,311
利益剰余金	6,449,349	6,543,648
自己株式	△207,972	△207,998
株主資本合計	7,312,688	7,406,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	365,836	412,589
評価・換算差額等合計	365,836	412,589
純資産合計	7,678,524	7,819,550
負債純資産合計	10,336,427	10,202,593

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	983,593	1,190,794
売上原価	652,518	764,587
売上総利益	331,075	426,206
販売費及び一般管理費	257,548	287,910
営業利益	73,527	138,296
営業外収益		
受取利息	1,303	1,341
受取配当金	12,570	13,389
為替差益	—	4,423
売電収入	4,701	4,260
受取補償金	13,795	—
その他	8,826	5,834
営業外収益合計	41,197	29,250
営業外費用		
支払利息	3	17
投資有価証券評価差損	5,930	—
為替差損	4,421	—
売電費用	2,260	1,997
支払補償費	10,076	—
その他	39	11
営業外費用合計	22,731	2,026
経常利益	91,992	165,520
特別利益		
固定資産売却益	34	—
特別利益合計	34	—
税引前四半期純利益	92,027	165,520
法人税、住民税及び事業税	7,509	21,657
法人税等調整額	△704	△607
法人税等合計	6,805	21,049
四半期純利益	85,221	144,470

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、機械の製造並びに販売事業において単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。